## (7) サクラ

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
てんぐ巣病	トップ゜シ゛ンMへ゜ースト	チオファネートメチルへ゜ースト剤	1	J	<b>東液</b>		病枝切除後	塗布	5回以内
アメリカシロヒトリ	アトラック液剤	チアメトキサム液剤	4A			胸高直径(樹幹部)、6~10cm	幼虫発生前~	~ 樹幹注入	3回以内
						30mL,11 $\sim$ 15cm 60mL,16 $\sim$	幼虫発生期		
						20cm 90mL,21~25cm			
						120mL,26~30cm 180mL,			
						30cm以上は胸高直径が5cm増す			
						ごとに30~60ml を増量する			
	オルトランン水和剤	アセフェート水和剤	1B	-	1500~2000倍	200~700 ให้/10a	発生初期	散布	5回以内
	ジェイエース水溶剤	アセフェート水溶剤	1B	-	1500~2000倍	200∼700¦兆/10a	発生初期	散布	5回以内
	バシレックス水和剤	BT水和剤	11A		1000~2000倍	200~700 ใน/10a	発生初期	散布	-
コスカシハ゛	スカシバ コンL	シナンセルア剤		2	40~100本		成虫発生初期	月 ディスペンサーを対象作物の	
				/	/10a(8g/100本製剤	)	から終期	枝に巻き付け設置する。	
モンクロシャチホコ	オルトランン水和剤	アセフェート水和剤	1B	-	1000~1500倍	200∼700╎%/10a	発生初期	散布	5回以内
	ジェイエース水溶剤	アセフェート水溶剤	1B	-	1000~1500倍	200∼700 % /10a	発生初期	散布	5回以内
	バシレックス水和剤	BT水和剤	11A	-	1000倍	200~700 ให้/10a	発生初期	散布	-